

令和5年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
警 察 本 部

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区 分	令和5年度	令和4年度	伸び率
予算総額	157,705,529千円	149,588,339千円	5.4%
一般会計構成比	7.1%	6.7%	—

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

II 主な新規事業及び重要施策

1 災害・危機に強い埼玉の構築

P 4 新規 大規模災害対策の推進 【施設課】 158,987

2 県民の暮らしの安心確保

P 5 新規 初動警察活動強化のための車載カメラ整備及び運用 【通信指令課】 12,575
(債務負担行為) (限度額 1,245,885)

P 6 新規 サイバー犯罪等事態対処能力の強化 【サイバー犯罪対策課】 27,021

P 7 越谷警察署の現在地改築 【施設課】 828,737

P 8 (仮称)川口北警察署の新築 【施設課】 246,808

P 9 交番・駐在所の改築 【施設課】 9,485
(債務負担行為) (限度額 509,772)

P 10 高齢者講習施設の新設 【運転免許課】 5,756,888

P 11 交通安全施設の整備 【交通規制課】 4,938,212

3 支え合い魅力あふれる地域社会の構築

P 12 新規 警察情報管理システムの合理化・高度化 【情報管理課】 188,926

新規

担当 施設課 次席
警察本部内線 2261

目的

浸水リスクのある警察施設に対して浸水対策を行うことにより、大規模な風水害発生時においても、警察施設の電気設備が浸水被害を受けることなく施設機能を維持し、防災拠点となる警察施設の機能強化及び災害に強い体制の整備を図る。

事業概要

1 警察施設の浸水対策の推進 158,987千円

(1) 警察施設の浸水対策 (新規) 158,987千円

浸水リスクのある警察施設（16施設）について、3か年で計画的に整備

〔対策内容〕

非常用発動発電機、燃料ポンプ、
受変電設備、自動切替盤、分電盤



嵩上げ 又は 止水板設置



(イメージ：止水板)



(イメージ：嵩上げ)

〔整備計画〕

	R5年度	R6年度	R7年度	
対象施設	機動センター	久喜警察署	大宮西警察署	鹿手袋分庁舎
	吉川警察署	杉戸警察署	加須警察署	交通機動隊
	深谷警察署	蕨警察署	川口警察署	上尾分庁舎
	幸手警察署	本庄警察署	草加警察署	
		川越警察署		

初動警察活動強化のための車載カメラ整備及び運用

【予算額】12,575千円 【債務負担行為】1,245,885千円

新規

担当 通信指令課 次席
警察本部内線 3611

目的

県民からの事件・事故等の110番通報に対して、リアルタイム映像による状況把握と情報共有をいち早く行い、現場の状況に応じた迅速・的確な初動警察活動を強化し、被害の拡大防止や犯人の早期検挙等により県民の安全・安心を確保する。

事業概要

1 初動警察活動強化のための車載カメラ整備 12,575千円 【債務負担行為】1,245,885千円

(1) 無線自動車動態管理（カーロケータ）システムの車載装置の更新 **（新規）** 12,575千円 【債務負担行為】 1,245,885千円

カーロケータシステムの車載装置を更新し、可搬型タブレット端末と車両前方を撮影する専用カメラを整備する。

〔整備車両〕

整備台数 386台：初動警察活動に従事するパトカー、捜査用車両の一部

〔車載装置の主な機能〕

- ・車両位置、活動業態、速度・進行方向情報等の情報伝送及び表示
- ・110番事案情報の表示
- ・映像の伝送及び保存

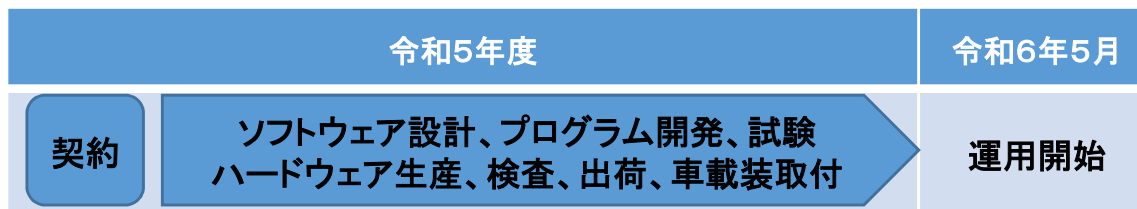
〔カメラの活用用途〕

- ・専用カメラ：各種事件・事故、火事・自然災害、けんか等の荒れた現場、逃走車両の追跡状況等を撮影
- ・タブレット端末：取り外して車外の状況等
- ・録画データ：捜査活動、行方不明者の搜索等に有効活用

〔債務負担行為の期間〕

令和5年度から令和11年度まで

〔スケジュール（見込み）〕



一部新規

担当 サイバー犯罪対策課 次席
警察本部内線 704-351

目的

サイバー空間の安全・安心を確保するため、サイバー犯罪等事態対処能力の向上を図る。

事業概要

1 産学官が協働した取組と資機材の整備による対処能力の強化

27,021千円

(1) サイバー空間の安全とモラルの確立

3,194千円

産学官が協働してサイバーセキュリティ対策を推進することにより、サイバー空間を利用する県民の安全・安心を確保するため、埼玉サイバーセキュリティ推進会議の運営やサイバー犯罪捜査に関わる必要な最新の知識、技術を有している専門家への嘱託等に係る費用

(2) サイバー犯罪対処能力向上に資する捜査力の強化

15,249千円

高度な捜査力・解析力を有する捜査員を拡充し、県警全体のサイバー犯罪対処能力の向上を図るため、最新の知識・技術に基づく民間委託講習の受講費用

(3) サイバー犯罪捜査力の強化

125千円

情報収集能力・追跡能力向上のための捜査資機材に係る通信料

(4) サイバー空間の脅威への対処に係る組織基盤の強化

208千円

迅速・確実な証拠の確保等、犯罪捜査支援のための解析資機材ライセンス料

(5) サイバー犯罪捜査の効率化 **(一部新規)**

8,245千円

情報通信技術を悪用した新たな手口の犯罪に迅速かつ効率的に対処するための環境整備費用

新規・拡充内容

➤ 捜査効率化を図るための環境整備 **【新規】**

匿名性の高い情報通信技術に係る事項について、人の手では膨大な時間と労力を要する各種情報との照合や、データ分析等の作業を効率的に行うための環境を整備

担当 施設課 次席
警察本部内線 2261

目的

管内の厳しい治安情勢に対応するための警察力を発揮するとともに、県民の利便性の向上を図るため、狭あい化が著しい越谷警察署庁舎の現在地改築を行う。

事業概要

1 越谷警察署庁舎の現在地改築 828,737千円（令和5年度）

（1）越谷警察署庁舎建設費（4か年継続事業第2年次） 828,737千円

〔新庁舎〕

- ・ 建設地 越谷市東越谷6丁目67番地6（現在地）
- ・ 敷地面積 8,094.2㎡
- ・ 庁舎規模 鉄筋コンクリート造 4階建て
8,050.24㎡

〔仮設庁舎〕

- ・ 建設地 越谷市東越谷7丁目11番地8他
（現在地から南へ約160m）
- ・ 敷地面積 6,064.69㎡（駐車場含む）
- ・ 借上建物 軽量プレハブ造 2階建て
2,912.6㎡

〔建設計画〕

- ・ 令和2年度 基本設計・用地取得
- ・ 令和3年度 実施設計
- ・ 令和4～7年度 仮設庁舎等借上げ
- ・ 令和5～7年度 庁舎建設（旧庁舎解体含む）

総事業費 約67億円



（新庁舎イメージ）

担当 施設課 次席
警察本部内線 2261

目的

川口市内の治安状況等に的確に対応するため、同市北東部地域に警察署を新設する。

事業概要

1 (仮称)川口北警察署の新設 246,808千円 (令和5年度)

(1) (仮称)川口北警察署庁舎設計費 246,808千円

〔庁舎概要〕

・建設地 川口市西立野地内
(都市計画事業石神西立野特定土地区画整理事業70街区等)

・敷地面積 6,673㎡
・庁舎規模 鉄筋コンクリート造 4階建て
約5,000㎡

〔建設計画〕

・令和2年度 用地取得 (特別会計)
・令和4年度 基本設計
・令和5年度 実施設計・保留地購入
・令和6～8年度 庁舎建設

総事業費 約55億円



(建設予定地)

担当 施設課 次席
警察本部内線 2261

目 的

地域住民の安全と平穏を確保するため、地域に密着した警察活動の拠点となる交番、駐在所を計画的に整備し、治安体制の強化を図る。

事業概要

1 交番・駐在所の改築（令和4～5年度建設） 9,316千円（令和5年度）

（1）交番・駐在所建設費（2か年事業、第2年次） 9,316千円

- ・ 令和4～5年度の2か年事業により、交番3か所・駐在所3か所を改築する。
 交番 栄交番（新座警察署）、新田駅前交番（草加警察署）、川越市駅前交番（川越警察署）
 駐在所 須加駐在所（行田警察署）、井泉駐在所（羽生警察署）、原道駐在所（加須警察署）
- ・ 予算額は交番、駐在所に係る備品購入費等

2 交番・駐在所の改築（令和5～6年度建設） 169千円（令和5年度）・債務負担行為509,772千円

（1）交番・駐在所建設費（2か年事業、第1年次） 169千円

- ・ 令和5～6年度の2か年事業により、交番4か所・駐在所2か所を改築する。
 交番 参道交番（大宮警察署）、上小交番（大宮西警察署）、江戸袋交番（武南警察署）、越生交番（西入間警察署）
 駐在所 吉見東駐在所（東松山警察署）、大河原駐在所（小川警察署）
 ※建設費は、警察共済組合不動産投資施設特約譲渡事業を利用（債務負担行為設定）
- ・ 予算額は初年度据置利息

（2）交番・駐在所建設費（債務負担行為）（限度額509,772千円）

- ・ 令和5～6年度の2か年事業により改築する交番、駐在所の建設費は警察共済組合不動産投資施設特約譲渡事業を利用
- ・ 期間 令和6年度～令和29年度、利率（見込）年1.200%

担当 運転免許課 次席
警察本部内線 702-211

目的

高齢運転者の増加に伴い、高齢者講習等の受講待ち日数の更なる増加が見込まれることから、高齢者講習施設を建設する。

事業概要

1 高齢者講習施設の新設 5,756,888千円（令和5年度）

（1）高齢者講習施設庁舎建設費（2か年継続事業第2年次） 5,756,888千円

〔庁舎概要〕

- ・ 建設地 さいたま市岩槻区大字馬込字十番2100番5
（旧県立小児医療センター跡地）
- ・ 敷地面積 42,720.43㎡
- ・ 庁舎規模 鉄筋コンクリート造 2階建て
6,286.38㎡（付属棟含む）

〔建設計画〕

- ・ 令和2年度 基本設計
- ・ 令和3年度 実施設計
- ・ 令和4、5年度 庁舎建設

総事業費 約64億円

令和6年5月開所予定



（庁舎イメージ）

担当 交通規制課 次席
警察本部内線 5161

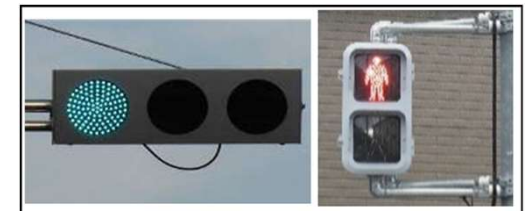
目 的

県民に「安全で快適な道路交通環境」を提供するため、老朽化した信号機等の更新、ゾーン30プラス等の安全対策を推進する。

事業概要

1 信号機の計画的な更新(ファシリティマネジメント)	2,609,086千円
(1) 信号制御機・車両感知器の更新	1,254,452千円
信号機をコントロールする信号制御機、車両感知器を更新する。	
(2) 信号柱の更新	244,750千円
信号機を支えている信号柱を更新する。	
(3) 信号灯器の更新(LED化)	1,067,760千円
老朽化した信号灯器をLED灯器に更新する。	
(4) その他(調査費等)	42,124千円
2 交通安全施設整備費(老朽化更新)	1,924,382千円
(1) 道路標識の更新	539,460千円
老朽化した道路標識を更新する。	
(2) 道路標示の補修	473,198千円
摩耗した横断歩道や停止線を補修する。	
(3) その他(信号制御機の更新[回線変更]、大型標識撤去等)	911,724千円
3 交通安全施設整備費(安全対策)	404,744千円
(1) 補助事業	156,950千円
ゾーン30プラスの整備、信号機を改良(歩車分離化等)する。	
(2) 事故防止対策	80,665千円
既設道路の安全対策として、信号機の新設や道路標識等を整備する。	
(3) 新設道路対策	167,129千円
新設道路の安全対策として、信号機の新設や道路標識等を整備する。	

信号灯器の更新(LED化)



ゾーン30プラス



ゾーン30及びスムーズ横断歩道の整備状況

新規

担当 情報管理課 次席
 会計課 次席
 運転免許課 次席
 警察本部内線 2411、2211、702-211

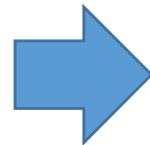
目的

警察情報管理システムの合理化・高度化を図り、県民の利便性向上と高度な警察活動を実現する。

事業概要

1 警察情報管理システムの標準化対応に向けた環境整備 188,926千円

- (1) 警察行政のデジタル化推進に向けた環境整備 **（新規）** 8,389千円
 デジタル化推進による通信容量増大に対応したネットワーク環境の整備
- (2) 警察情報管理システムの合理化・高度化に向けたデータ移行・システム改修 **（新規）** 162,811千円
 ・ 遺失物届出のオンライン化等高度化するシステムへのデータ移行
 ・ 標準化連携の継続に向けたシステムの改修
- (3) 警察情報管理システムの合理化・高度化に向けた端末整備 **（新規）** 15,576千円
 警察情報管理システムの合理化・高度化に対応するための端末装置の整備
- (4) 運転免許証申請自動受付装置の導入 **（新規）** 2,150千円
 運転免許申請受付のオートメーション化を進めるために「申請自動受付装置」を導入



申請書の記載が簡略化